



むしろこれから鹿島・太良プロジェクト

鹿島・太良には、人々の生活と共に、食、歴史、文化、自然といった本物の価値ある地域資源が数多く存在します。

このプロジェクトでは、日常の中にある地域資源を活かし、地域の人との出会いを楽しみながら、暮らすように旅をする「スロートーリズム」を生み出すことで、鹿島・太良エリアが何度でも訪れたい場所になることを目指しています。

スロートーリズム推進事業

●グルメブランディング

グルメを含む自然風景や体験をきっかけに県内外から誘客を狙う事業を実施します。



●地域発案型事業

地域のプレイヤーの事業企画・具現化を伴走支援し、将来的な収益事業にチャレンジする事業です。将来の持続かつ自走可能な事業の創出を目指します。



●体験コンテンツ開発事業

学ぶ、作る、巡るなどを通じた体験と交流が促される“体験”コンテンツを開発。各コンテンツを繋いで、エリア内周遊により、地域内消費拡大を目指します。



●シンポジウム／イベントの開催

むしろこれから鹿島・太良プロジェクトを知り、プロジェクトの仲間となっていたくためのシンポジウムやイベントを開催します。



KATAラボ

鹿島(Kashima)、太良(Tara)の未来を語らうラボ

県、鹿島市、太良町のメンバー6名が常駐する現地事務所を開設しています。地域の皆さんと膝を突き合わせ、日常の暮らしの中にある価値を磨き上げ、花開かせるための伴走支援や地域をつなぐネットワークづくりを支援しています。

鹿島駅エリア整備事業

肥前鹿島駅及び駅周辺は、鉄道やバスに乗るための交通拠点としてだけでなく、「鹿島・太良らしさ」を感じられる広域的な交流拠点となるよう、佐賀県、鹿島市が連携して整備を進めています。

肥前鹿島駅及び駅周辺を鹿島・太良のスローツーリズムのフロントとし、旅行者が肥前鹿島駅にチェックインして、沿線各地の宿に宿泊するような新しい旅のかたちが創出され、地域全体の価値が向上することを目指します。

新駅舎は、出会いと滞在の入口へ



お迎えフロント



ラウンジ、ショップ



宿泊施設

※掲載している写真はイメージです

●新駅舎運営事業者について

肥前鹿島駅の新駅舎には、スローツーリズムのフロント機能の核として、「えきやど(小規模宿)」、「飲食」、「物販」を設置。これらを効果的に運営するために、民間のノウハウを活用することとしており、整備に先立ち、令和7年1月に、新駅舎の、「えきやど(小規模宿)」、「飲食」、「物販」を運営する事業者を公募により(株)イノベーションパートナーズ、(株)GOTENリゾート、(株)日比谷花壇の3社に決定しました。(事業者は、新駅舎の一部を県から賃貸借し運営)



<新駅舎飲食・物販スペースイメージ>

肥前鹿島駅周辺整備のイメージ



沿線えきやど構想

肥前鹿島駅をフロントに、鹿島・太良全体で「沿線えきやど」という仕掛けづくりにチャレンジ。

鹿島・太良全体を宿に見立てて、旅行者が、肥前鹿島駅にチェックインし、鉄道を使って沿線各地の宿に宿泊し、ゆっくりと鹿島・太良の各地を楽しむような、新しいかたちの旅を提案していく。



※掲載している写真はイメージです



肥前鹿島駅エリア整備スケジュール

